

自然派くらぶ

ほらーの11

NOVEMBER
2017
No.395



- 食の講演会報告
- SDGs と わたし
- 庄内ふれあいの旅報告
- 2017年度総代一覧

藤田 智 氏 講演会 ----- 9月15日(金) 八王子労政会館

「あなたにもできる！ 素敵なオーガニックライフ」より

大地を育てることは 人の心を耕すことだ！



ふじた さとし 氏
恵泉女学園大学
人間社会学部教授。
家庭菜園や市民農園の指導
普及に幅広く活動。NHK
「やさいの時間」や日本テ
レビ「世界一受けたい授業」
などTV出演。著書多数。

自然派くらぶでは今、オーガニックに焦点を当て活動を進めています。人や環境にもやさしい持続可能な社会をめざして私たちができることはどんなことなのでしょうか。

今年の食の講演会は、「心と体の健康のために、そして次世代を育てるためには家庭菜園が一番」と説く藤田先生に講演していただきました。

この日の会場は募集定員を超す120人もの参加者で満席状態。チエックのシャツとストローハット。まるでテレビから抜けってきたような先生の登場に大きな拍手が起きました。

「農業が地球にもたらしたもので行つた最初の環境破壊とい

う事実でもある」。ちょっと衝撃的な事ですね。およそ一万年前、人間は植物栽培によつて安定した食料生産を可能とし「人類の幸福」を手にしました。しかし大地を切り開き植物を植えることは人間が地球に対して行つた最初の環境破壊だったと先生は言います。

21世紀のキーワードを「人口」「食料」「環境」とするなら農業・園芸はすべての項目に関わっていると言えるでしょう。食料生産を目的とする農業、生活を豊かにする園芸は人間がこの世に生きている限り永遠に不滅です、と力説されました。

秦野市にある「じばさんず」という農協直売所では、生産者の顔が見える販売方法に取り組み、消費者とのつながりが生産者の喜びと感じられるようない距離感を作りました。地元の清らかな水育った新鮮・安全な農産物、その野菜を待っている人たち。これが直売所の活気となり、わずか4年のうちに売り上げが4倍に増えるという成功に導いたそうです。

「次の世代を支えるのは、本日ここに来ている一人一人の後ろ姿です」と、藤田先生が会場に語りかけました。

大学で教えているある学生は、自分で育てた農作物を家に持ち帰ると家族の会話が増えたそうです。

そこで地元の老人会が花を植えたところ、不法投棄が無くなるだけでなく、美しく花があ

街を歩く人の心も変わったよう思えたそうです。

う事実でもある」。ちょうど衝撃的な事ですね。およそ一万年前、人間は植物栽培によつて安定した食料生産を可能とし「人類の幸福」を手にしました。しかし大地を切り開き植物を植えることは人間が地球に対して行つた最初の環境破壊だったと先生は言います。

21世紀のキーワードを「人口」「食料」「環境」とするなら農業・園芸はすべての項目に関わっていると言えるでしょう。食料生産を目的とする農業、生活を豊かにする園芸は人間がこの世に生きている限り永遠に不滅です、と力説されました。

秦野市にある「じばさんず」という農協直売所では、生産者の顔が見える販売方法に取り組み、消費者とのつながりが生産者の喜びと感じられるようない距離感を作りました。地元の清らかな水育った新鮮・安全な農産物、その野菜を待っている人たち。これが直売所の活気となり、わずか4年のうちに売り上げが4倍に増えるという成功に導いたそうです。

「次の世代を支えるのは、本日ここに来ている一人一人の後ろ姿です」と、藤田先生が会場に語りかけました。

大学で教えているある学生は、自分で育てた農作物を家に持ち帰ると家族の会話が増えたそうです。

そこで地元の老人会が花を植えたところ、不法投棄が無くなるだけでなく、美しく花があ

理事会（第5回）	
日時	10月2日10時より
場所	自然派くらぶ生協会議室
出席	理事12名 監事3名
一、9月の活動報告	
*8月度決算報告	
*9月品群別受注概況	
*9月末までの加入531人、脱退470人	
二、業務報告	
三、審議事項	
*種子法の廃止に伴い、「日本の公共の種子を守る新たな法制定を求める署名活動」を実施する件	
*ネオニコチノイド農薬についての学習講演会を、生協ネット21で合同開催する件	
*神奈川生協連からの取り組み協力について	
*自然派くらぶまつり運営確認	
四、討議事項	
*八王子支え合いネットワークで1月に開催する合同イベントの内容について	
*その他・報告事項	
*理事の退任について	

自然から学ぶこと



う時代を背景に市民農園の設置数が増加しています。外国製品や残留農薬への不安も手伝い安全・安心な食物への関心も高まつたという事もあるでしよう。

季節を感じ、苦労、努力した分だけ報われる喜び。農作物を通じて生まれるコミュニケーション。「大地を育てることは人の心をも育てるこ

と」と藤田先生。自然から恵みをもらいつつ、人間の営みを続けることはいろいろな形で私たち個人の生活に取り入れることが出来ることを、最後に強調なさいました。

落ち葉集めから土づくりをする中西さん、循環型畜産を実践している中津ミートさん、地域の気候、風土を利用して農産加工品をつくる佐久の生産者。多くの生産者が食べる人を思い、自然を大切にしながら良いものを作っています。私たちは食べることで生産者

の講演を受け、商品部の園部が「自然派くらぶ」について語りました。

私はたくさんの生産者との交流を通して、生協が40年続けてきた産直事業こそがオーガニックの目指すところと同じなのではないかと思つています。

オーガニックというと有機農産物というモノに焦点が当てられますが、環境保全や健康的な生活、自然との共生といつたことも含まれるのではないかでしようか。

感 想

- 栽培についてだけでなく、社会・心・コミュニケーションなど幅広い話の中に笑いあり、楽しく聞けました。
- なかなか自分ではうまくできませんが、家庭菜園をやってみたくなりました。
- 農業が人を育て自然を守ることをもっと子どもたちに教えてほしいです。
- とてもわかりやすく楽しく聞くことができました。定年後に家庭菜園にトライしてみようと思いました。
- 植物を育てることは大変だけれど先生の話を聞いて大切なことを改めて気づかされました。
- 思っていた話とは違ったけれど楽しかったです。
- 話はとても上手でしたが、オーガニックライフのことをもっと詳細に教えてもらえると良かったと思います。
- 楽しいお話を交えながら農業と環境、食育と地産地消などの大切さをお話しいただきとても分かりやすかったです。自分にできる範囲でオーガニックライフを楽しんでいけたらと思います。



商品部農産担当 園部誠司

員の気持ちに応えてくれます。この循環によつてこそ環境保全や自然との共生という価値のある社会の実現に近づくことができるのです。

これからも身近にある大切なことをカタログでお伝えしていきたいと思っています。

自然派くらぶ生協の オーガニック商品

会場の一角で生協が扱うオーガニック商品の一部をご紹介しました。

- デュラム有機スパゲティ
 - ジロ口モーニ有機オリーブオイル
 - 有機トマト缶
 - 有機栽培ココア
 - アイスコーヒー
 - 有機ルイボス茶
- など



- 千葉産有機野菜各種
- 山形県庄内の合鴨農法のトラスト米

庄内ふれあいの旅

10月7日(土) 8日(日) 主催: 水田トラストの会 参加者: 19名

毎年好評の産地訪問「庄内ふれあいの旅」。
都会の喧騒を離れて
私たちの食が育まれる土地を歩きました。



たわわに実った稻を刈り取る感触。「お米は一粒でもムダにしちゃダメよって母や祖母が言ってたの思い出すわ…」と参加者。

こんなに多くの白鳥を見たのは初めて! 鳥たちを驚かせないように控えめに上げる歓声とシャッター音が、参加者の感動を代弁しています。余目駅からマイクロバスに乗つて30分、白鳥たちは稻を刈り取つた後の株の間に虫を見つけてついぱみます。虫が住んでいるということは健健康な土だということ。豊かな自然を虫や鳥たちと人間が分かれ合つている光景が目の前に広がっていました。

お腹がいっぱいになつた鳥たちは、夕暮れになると最上川に戻つていくそうです。

鎌の使い方を教えていただき、慣れないながらもザクザクと刈り取ります。実つた稲穂の重さがなんと有難いことでしょう。この一粒一粒が私たちの食の原点であることを改めて感じた瞬間でした。

そして子どもたちのお楽しみはコンバインに乗せてもらいました。5人の子どもたちは順番に運転席の端っこにちゃんと載せてもらつてドドドッと稻を刈り取り大満足。またない体験となりました。



都会ではお目にかかるないお米の生産過程。大人はもちろん子どもには絶好の社会科見学です。

鳥たちと分かち合う自然

こんなに多くの白鳥を見たのは初めて! 鳥たちを驚かせないように控えめに上げる歓声とシャッター音が、参加者の感動を代弁しています。余目駅からマイクロバスに乗つて30分、白鳥たちは稻を刈り取つた後の株の間に虫を見つけてついぱみます。虫が住んでいるということは健健康な土だということ。豊かな自然を虫や鳥たちと人間が分かれ合つている光景が目の前に広がっていました。

お腹がいっぱいになつた鳥たちは、夕暮れになると最上川に戻つていくそうです。

鎌の使い方を教えていただき、慣れないながらもザクザクと刈り取ります。実つた稲穂の重さがなんと有難いことでしょう。この一粒一粒が私たちの食の原点であることを改めて感じた瞬間でした。

そして子どもたちのお楽しみはコンバインに乗せてもらいました。5人の子どもたちは順番に運転席の端っこにちゃんと載せてもらつてドドドッと稻を刈り取り大満足。またない体験となりました。



手での収穫を体験したあとでは、「コンバインのパワーは有難いわね」と参加者から感嘆の声が。

現場の声を届けるのは誰?

ライスセンターでは菅原誠さんと、菅原義弘さん(弘行さんの息子さん)が作業をしていました。

今年は日照不足で成育不足のお米が多いとのこと。でも数年前に新規購入したお米の選別機は優秀で、異物やくず米(成育不足の米)の混入もなく、美味しいお米を組合員に届けられるそうです。

「農業の現場では改善したいことが多々あるが、農家が要求しても国は動かない。消費者の要求なら国も動くので、皆さんが国を動かしてくださ」と菅原孝明さん。食べ支えるだけでなく、生産者と共に良い形を作つていくことも大切だと気付かされました。

合鴨農法は簡単じやない



笑顔の政右衛門さん。自然の中で暮らしているからか、まだまだお元気です。

農業者の高齢化、介護、後継者問題…私たちが頂いていられる美味しいお米の裏側にある、そんな事情にも話題が及んだひとときでした。

「田んぼで畜産をしている」とのこと。しかも合鴨は人工的に交配させた種のため自然界に放鳥するのはご法度。逃げた合鴨を回収することの重要性にも言及されていました。この合鴨も脂がのる11月頃に食べるのですが、政右衛門さんは「愛着がわいて食べられないんだよなあ」と悩んでいました。

田に放つておけば雑草を食べてくれるという、楽なイメージがあるかもしれません。実際はそうでもないようです。米左衛門グループ最年長77歳の成田政右衛門さんが飼育する合鴨を見学しながら、孝明さんに伺いました。合鴨は休み場所も工サも必要。まさに「田んぼで畜産をしている」

くつろいで語りあつた交流会



新米のおにぎり、しそ巻き、イチジク煮、赤かぶの漬物…忙しい中、米左衛門の奥様たちが手づくりを届けてください、旅館の夕食プラスαの賑やかな食卓となりました。



先代の急逝あとを継いだ現住職。立派に地域の祈祷寺を守っています。

美味しい新米に舌鼓を打ちつつ生産者の皆さんと語り合った数時間、これもまた旅のハイライトのひとつです。今まで生産者の奥様方が心づくしのご馳走を用意してくださいました。今年は旅館での開催。というのも、実は介護を抱えて大変な日々を送っているという事情があります。

翌日は月山ワイン山ぶどう研究所を見学。月山ワインは修驗者や地元の人々が滋養強壮のために野生の山ぶどうで作っていたぶろくから始まりました。今では国際コンクールで金賞を受賞するほどです。今回はラツキーなことに、非公開の貯蔵庫を見学させていたくことができました。

そして庄内に現存する中で最も古い即身仏が安置されている本明寺へ。杉木立の中で説明をしてくれたのはまだ若い住職さん。孝明さんは「彼が5歳のころから知っているんだよ」と優しい笑顔を向きました。地域で温かく育まれる歴史を感じながら聞いた読経は心に染み入りました。

月山ワイン・本明寺参拝



合鴨農法による「水田トラスト米」を購入ご希望の方は
生協までお問合せください。 ☎ 042-644-1811

(ほ) 本物の美味しさがわかるお子さんですね。菅谷食品の黒豆納豆も納豆嫌いの人にも食べやすいと評判ですよ。

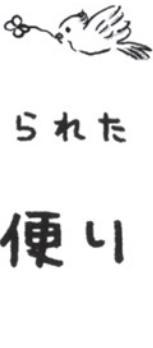
(日野市 大原千絵美さん)

(ほ) 納豆嫌いの長男。菅谷食品の大江戸せいろ蒸し国産小粒納豆を長男以外で食べているとき「一口でいいから体のために食べなさい」と長男にすすめました。長男は渋々口に運びましたが、食べたら目をまんまるにして「これはおいしいよ! これなら食べられる!」と喜びました。それ以来、毎週注文し、長男も納豆をおいしく食べられるようになりました。ちなみに他の納豆はやっぱり食べません。この納豆が良いみたいです。

(日野市 大原千絵美さん)

● 納豆嫌いの長男。菅谷食品の大江戸せいろ蒸し国産小粒納豆を長男以外で食べているとき「一口でいいから体のために食べなさい」と長男にすすめました。長男は渋々口に運びましたが、食べたら目をまんまるにして「これはおいしいよ! これなら食べられる!」と喜びました。それ以来、毎週注文し、長男も納豆をおいしく食べられるようになりました。ちなみに他の納豆はやっぱり食べません。この納豆が良いみたいです。

寄せられた お便り



● ユニオンソース（栃木）の“あらごし完熟ケチャップ”がおいしいです。ミートソースにしても、トマトの味がしつかりします。ビンが広口になつて、すごく使いやすくなりました。

(八王子市 高野久美子さん)



● この前、初めて今年のリンクを届けて頂きました。とてもおいしくてお友達にも差し上げたところ「おいしかった」と、お礼の言葉を頂きました。生産者の方に、ひと言お伝えできればと思います。

(八王子市 鈴木暁子さん)

● 平和を願う八月と題して憲法って何だろう?というテーマを取り上げていました。タイムリーで本当にいい記事だと思います。日本が何だからやしい方向へ向きつつある今、自分たち一人一人が自分のこととして社会のこと政治のことと憲法のこと等を勉強し考える必要があると思います。憲法は権力者に都合の良いものではなく国民を守るものであることを改めて感じます。

● 日野に越してきた頃はソバの畑もありましたが、今は宅地ばかりになり、寂しい限りです。どんな時代になろうとも第一次産業は人間が生きていくのに大事なものだと思います。

(日野市 稲葉幸子さん)

(ほ) 「おいしい」の声は生産者さんの励みになります。ありがとうございます。

(ほ) これからも色々なテーマを取り上げていきたいと思っています。皆さんも、知りたいことや伝えたいことをお寄せください。お待ちしています。

日本の種子を守る署名に ご協力ください

戦後の日本の食と農を支えてきた「種子法」は来年3月末に廃止されてしまいます。

自然派くらぶ生協では、米・麦・大豆などの公共品種を守るために、種子法に代わる新しい法律の制定を求める署名活動に取り組みます。

7月号「知らないってコワイ」で大切な種子のことを取り上げたときには多くの反響をいただきました。嘆くだけではなく、私たちにできることの一歩として署名の輪を広げていきましょう。ご協力よろしくお願ひいたします。



*署名用紙は11月3回、11月5回、12月4回、2月1回のカタログに同梱

ネオニコフリー 想いをつなぐリレー学習会

ナチュラルコーポコハマ、やまゆり生協、自然派くらぶ生協共同開催

とき： 12月1日（金）10:00～13:00
ところ： 町田市文化交流センター
(JR町田駅すぐ)

参加費： 300円
*お申し込みは生協まで。



農作物だけでなく、住宅建材や殺虫剤など家庭でも広く使われているネオニコチノイド系農薬。世界的には規制強化が進んでいる一方で日本では使用拡大の方向にあります。自然環境や人体への影響はどうなのでしょうか。二人の講師にうかがいます。ぜひご参加ください。

* 詳細は11月3回配布のチラシをご覧ください。

持続可能な開発目標

SDGs

1. 貧困をなくす
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなに
そしてクリーンに
8. 働きがいも 経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤を
つくろう
10. 人や国の不平等をなくす
11. 住み続けられるまちづくりを
12. **つくる責任 つかう責任**
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさも守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナーシップで
目標を達成しよう

Sustainable Development Goals

エス・ディー・ジー・ズ

SDGsとわたし

<食品ロス>

「自分だけじゃなく、世界中の人々が今も未来も幸せに暮らせるような世界を、一人ひとりの行動で作って行こう！」という目標を、昨年9月に国連が17のカテゴリーにまとめました（左表参照）。

キーポイントは「一人ひとりの行動で変えていく」こと。ぽらーのではまず始めに、SDGsの12番目のカテゴリー「つくる責任 つかう責任」を取り上げます。

中の人々が今も未来も幸せに暮らせるような世界を、一人ひとりの行動で作って行こう！」という目標を、昨年9月に国連が17のカテゴリーにまとめました（左表参照）。

賞味期限はまだ先なのに値下げ販売している見切り品の食品を見かけます。流通三者（小売・卸・メーカー）には3分の1ルールという商慣習があり、賞味期限が6か月の食品なら、賞味期限まで残り4

2割は手つかずの食品で、その4分の1は賞味期限前のものだそうです。食べられるはずの食品が大量廃棄される問題、食品ロス。国内で廃棄される食品は家庭ごみ、事業系ごみ合わせて＊年間632万t。これは東京都民が1年間で食べる量とほぼ同じというのですからオドロキです。

*「政府広報オンライン」より

頂きものの食品を「誰も食べないから」と捨ててしまつたことはありませんか？ 家庭から出される生ごみのうちの2割は手つかずの食品で、その4分の1は賞味期限前のものだそうです。食べられるはずの食品が大量廃棄される問題、食品ロス。国内で廃棄される食品は家庭ごみ、事業系ごみ合わせて＊年間632万t。これは東京都民が1年間で食べる量とほぼ同じというのですからオドロキです。

そもそもこのルールが設けられたのは、賞味期限間近の食品が店頭に並ぶことを消費者が嫌がることもあるようです。棚の後ろから賞味期限の長い商品を選んで購入することはできませんか？ 食品ロスが生じるのは消費者のエゴも一因かもしれません。

日本では対策として「フードドライブ」という取組が始まっています。自治体などが個人の寄付やメーカーから賞味期限前の食品を譲り受け、福祉施設などに寄付する仕組みです。

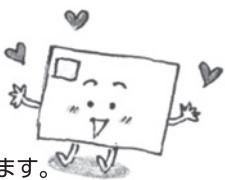
世界はどうでしょうか？ 世界も「つくる責任つかう責任」に気づき始めています。次回ではオーストラリアの事例を紹介します。

→ きりとりせん

ぽらーのレター

「ぽらーの」へのご意見・ご感想、ご提案、オススメ料理など、お寄せください。

なお、お便りは、本誌の他、ホームページ・商品カタログ等に掲載させていただく場合があります。



クイズの答え

名前

組合員
コード (6ヶタ)

住 所 () 市 区 () 町

10月の日録

- 2日(月) 理事会
- 3日(火) 食と農をつなぐ会 畑活動
- 5日(木) 虹の会 バザー仕分け作業
- 6日(金) 自然派ママくらぶ祭準備
- 7日(土)~8日(日)
水田トラストの会
「庄内ふれあいの旅」
- 10日(火) 食と農をつなぐ会 レシピ作り
- 12日(木) 虹の会 バザー仕分け
- 20日(金) 庄内米左衛門さんとの交流会
- 21日(土) 第29回自然派くらぶまつり
- 24日(火) 商品委員会 太陽油脂
- 27日(金) 自然派ママくらぶ 畑活動
- 30日(月) 自然派くらぶまつり総括会議

11月の商品委員会

21日(火)

愛川循環型有機農業研究会
産地訪問

*今回の傍聴はありません。

八王子会場

11/27(月) 八王子クリエイトホール 第6学習室

Ⓐ10:00~11:30 Ⓑ13:00~14:30

調布会場

11/29(水) 調布市文化会館たづり 601会議室

Ⓒ10:00~11:30 Ⓟ13:00~14:30

当選者の発表

応募総数 19通

答え 前回のクイズ
「④薄(すすき)
秋の七草、あとひとつは?」

● ● ●
小 新 新
川 井 倉
清 泰 要
香 子 子
様 様 様
(府 中 王 城)
市 市 市

きりとりせん

そろそろ紅葉狩りのシーズン。

「顔に紅葉を散らす」という言葉の意味は、

次の3つのうち、どれ？



① お酒を飲んで
顔が赤くなる様子。



② 平手打ちをさ
れて、顔に手形が
できる様子。



③ 軽はずかしさの
あまり顔を赤らめ
る様子。

ぽらーの

クイズ



応募要領

この裏面(7面下段)にクイズの答えと必要事項を記載の上、注文用紙と一緒に配達便にのせてください。封書にてご郵送ください。

*切は11月19日(日)必着

プレゼント

正解者の中から抽選で3名様に商品利用券(500円)。

2017年11月6日

公告

2017年度総代当選者について

自然派くらぶ生活協同組合
選挙管理委員会委員長 田野倉 悠

2017年度総代選挙において、立候補者が定款第55条の総代定数範囲内となりました。総代選挙規約第11条に基づき、投票を省略して下記の134名の候補者全員を当選人とします。

〈八王子日野区〉	齊藤 なおみ	播野 節子	古泉 陽子	平木 絹枝
服部 知栄	橋 恵子	越中谷 泉		宮本 さおり
内山 央子	武井 あき子	井部 智子	〈多摩南地区〉	
齊藤 加代子	多田 利枝	土生 恵子	佐藤 恵利子	〈多摩東地区〉
山口 育子	筒井 博子	今野 澄子	糸井 藤子	田制 聰子
天満 カヨ子	佐藤 尚美	石井 久美	岡島 曜子	清水 多江子
菊地 恵子	前山 優子	小原 浩美	井上 美佐子	富田 千恵美
澤田 早苗	大久保 奈緒子	早川 百合子	武藤 香絵	篠原 恭子
内田 佐知子	石田 可奈子	早川 美紀子	富永 瞳美	露崎 奈津子
野村 弘子	澤村 洋子	土屋 洋子	高倉 みちる	松尾 綾子
福井 房子	小坂 友香	関口 敦子	飯野 君恵	
瀬沼 幸恵	山内 千尋	伊藤 房子	丸谷 真由美	〈多摩西地区〉
宮川 陽子	宮本 和子	新野 千絵	磯部 真弓	原 浩子
赤沢 房代	山崎 淑子	中壽 美代子	守永 聖子	佐藤 茉莉
簾野 和代	若林 恭子	長橋 則子	三嶽 恵理子	橋本 洋子
山中 律子	柳澤 信子	駒林 志津子	小山 薫	中井 三津子
笹野 喜美恵	横山 祐子	伊藤 ひろ美	高橋 順子	中埜 京子
佐藤 量子	村井 洋子	高木 育子	高橋 裕子	奥山 数恵
橋本 忍	鈴木 光子	木高 道子	林 佳美	土屋 智子
松崎 由貴	森下 由美	三島 公美	清水 祐児	大川 ヨウ子
片田 アヤ子	野間 なおみ	新納 つや子	猪妻 なおみ	杉田 伸江
板橋 のり子	守屋 寿々子	毛塚 陽子	興治 加奈子	
白鳥 一枝	高橋 朋子	岩波 恵理子	川畑 圭子	〈多摩北地区〉
野口 悠紀子	笠原 三知子	佐藤 美由紀		阿部 直子
小林 稲子	安藤 淳子	新納 梨恵	〈多摩中央地区〉	井上 陽子
小坂 優子	深田 一江	足立 留美子	朝岡 尚美	
大棒 節子	井梅 志津子	池田 未扇	吉田 彰子	
大澤 三枝子	小笠原 淑江	関口 明里	河又 和子	
関 朋子	大澤 久美子	小山 小夜美	田上 朱美	
関根 多津子	栗原 真代子	仁科 利香子	大野 里枝	